

令和元年度学校評価報告書

北海道教育委員会教育長 様

北海道訓子府高等学校長  
大槻 健治 印

次のとおり令和元年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 基礎・基本を確実に身に付けることにより、自ら学ぶ意欲の向上と進路実現を目指す。
- (2) 部活動や生徒会活動等の工夫・充実により、自律し責任ある行動を目指す。
- (3) 優しさと思いやりの育成により、他者と共感できる豊かな心の育成を目指す。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の協働体制に基づく組織的・計画的な活力ある教育活動を展開している。</li> <li>・学校評価の結果と反省を積極的に反映させた学校経営を推進している。</li> <li>・地域と連携した様々な活動を推進することにより、地域との繋がりを深められるよう工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営方針に則った形で様々な指導が進められており、今後も精力的な学校運営を期待している。</li> <li>・前年度に学校評価で出された課題点を改善し、より良い学校運営が実践されている。</li> <li>・授業におけるスマート農業の取組や訓子府町議会との取組を今後も更に発展させることを期待している。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育、ボランティア活動等を積極的に展開し、生徒の自己有用感を高める体験的学習活動を企画・推進する。</li> <li>・学校評価による教育活動の工夫・充実を図るとともに、学校だよりやHPによる情報の発信に引き続き努める。</li> </ul>	
教育課程 ・ 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の多様な進路実現を目指す教育課程の編成と、その工夫・充実を図っている。</li> <li>・生徒の学習意欲に応じた学習の方法や内容についての工夫充実を努めている。</li> <li>・学級担任と教科担任との連携を密にし、生徒の実態に合った指導を手厚く実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育目標を達成するために教育課程の円滑な運営が実践されている。</li> <li>・生徒の実態に即した学習指導が展開されている。</li> <li>・様々な学力層の生徒への指導が習熟度別指導や少人数指導等の工夫によって学習の質を高めている。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・対話的で深い学びの浸透を目指し、生徒に意欲的な発問を促すような授業展開を意図する。</li> <li>・様々な言語活動やICTを取り入れた授業等の工夫・充実を努める。</li> </ul>	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶、礼儀、時間厳守、身だしなみ等の基本的な生活習慣の醸成を図っている。</li> <li>・生徒理解を深めるため、保護者や外部関係機関との連携や教育相談の工夫・充実を注いでいる。</li> <li>・HR活動、生徒会活動及び部活動を通じて、生徒一人ひとりの自己有用感を高める指導の充実を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒へのきめ細かな指導により、基本的な生活習慣の確立や規範意識を醸成させる工夫が充実している。</li> <li>・バス通学生の様子を見ても、生徒達の様子がとても落ち着いており、先生達の指導が行き届いている印象が強い。</li> <li>・部活動の活性化について、今後もより一層の改善・工夫を期待している。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会への奉仕的な活動の充実を図り、心を豊かにする教育の工夫・充実を図る。</li> <li>・生徒会活動や部活動の充実を図り、達成感や自己有用感を高める指導を展開する。</li> <li>・生徒の意見や考えを尊重した活発な学級活動・委員会活動を展開し、生徒がより自主的に活動できるよう工夫する。</li> </ul>	
進路指導 ・ キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年毎の進路シラバスを適正に運用し、進路指導に役立てることができた。</li> <li>・地域との連携を図り、インターンシップ等の活動を通じて、生徒の進路意識の醸成を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の進路希望に応じたキャリア教育の工夫や充実が図られている。</li> <li>・地域と連携し、インターンシップ等の進路学習の充実が図られている。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き進路シラバス運用上の課題点を洗い出し、一層の改善・工夫を重ねていく。</li> <li>・生徒の進路希望実現に向けた指導を計画的・継続的に実践できるよう推進する。</li> </ul>	

公表方法 : 学校HP及び学校だよりに掲載し地域住民に公開する。

3 添付資料

- 1 令和元年度学校教育に関するアンケート集約結果（年度末学校評価） 1冊
- 2 令和元年度学校評価表（学校関係者評価）評価数値平均値 1部